

地域の未利用木材から牛のエサをつくる！みらいプロジェクト

株式会社エース・クリーン(北見市)



《原料の木材チップ》



《蒸煮装置》



《蒸煮木質飼料》

【組織等の概要】

- 代表取締役：中井 真太郎
- 設立年：昭和51年
- 事業形態：一般及び産業廃棄物の収集・運搬・処分、飼料製造
- 所在地：北見市小泉761番地12
- 従業員数：71名
- 連絡先TEL：0157-22-0700
- URL：http://www.a-clean.co.jp

◇【取組の経緯と概要】

【取組の経緯】

- ◆ 地域資源の有効活用を模索していたところ、「木を牛の餌にする」という過去の文献を見つけたことを契機に、平成26年から蒸煮木質飼料の開発を開始。
- ◆ 過去に例が少ない取組で、多くの課題が生じたが、北海道立総合研究機構や帯広畜産大学等と連携して乗り越え、地球の未来に貢献する事業として平成28年に販売を開始。

【取組の概要】

- ◆ 製造飼料の原料は、シラカバをはじめとした、山林から排出される未利用・低利用木材の木材チップと水のみ。
- ◆ 飼料の特徴は、嗜好性の高さと牛の健康への寄与。また、地域の林産資源を原料とするため、天候等の影響を受けずに安定供給が可能。
- ◆ 飼料の主な販売先は十勝地域。一部をオホーツク管内や全国各地にも販売展開。

【取組の成果】

- 地域の未利用・低利用木材(製材等として利用価値が低い木材)を蒸煮飼料化することで、新たな価値を見出し林業の活性化に寄与。
- 飼料成分が疾病(ルーメンアシドーシスや乳房炎等)の主要原因菌の増殖を抑制することを確認。また、給餌により枝肉重量の増加が認められた。
- 給餌により牛から排出されるメタンガスが減少する可能性が報告されており、環境負荷低減への寄与にも期待。
- 飼料の販売出荷量は、平成30年度は135トン、令和6年度には約3,000トンに増加。販売当初、数戸だった利用者も、全国で約150戸に増加。
- 令和6年度「第11回ディスカバー農山漁村の宝」の優秀賞(ビジネス・イノベーション部門)を受賞。

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- 原料の木材チップの確保
⇒ 管内の林業事業者が取組の意義を粘り強く説明し、網走市と津別町の事業者の賛同を得て木材チップの供給契約を締結。
- 製造した飼料に短期間でカビが生じる課題
⇒ 蒸煮温度や時間の工夫によりカビを抑制できることを突き止め、長期保管に成功。
- 蒸煮木質飼料に関する実証データ不足
⇒ 研究機関の分析に加え、畜産農家の協力を得て、実際に給餌することで効果を検証。

【今後の展望】

- 不測の事態が発生した際にも確実に製品を届けられるよう、安定的な供給体制を確保しつつ販路拡大。
- 蒸煮木質飼料を普及し、国産飼料の自給率向上。
- 疾病抑制やメタンガスの減少等、蒸煮木質飼料に期待されている効果に関する学術的根拠の収集。
- 新たな樹種の活用を進め、更なる未利用資源の有効活用。